

当院でロボット支援下直腸癌手術を受けた患者さんへのお知らせとお願い

当院では、手術支援ロボット（ダヴィンチ）を用いて直腸癌手術をなさった患者さんを対象とした、下記の「後方視的研究」を実施しています。

「後方視的研究」とは、既に治療が行われた患者さんの診療内容について、診療記録（カルテや検査結果等）から、診療記録に記載されている範囲内で分かる、患者さんの治療経過などの臨床データを調査して、新しい治療体系を構築するなどの医療の向上を目的とした研究です。当院では、医学や医療技術が進展することで、患者さんの健康保持および生活の質の向上に貢献することを目標とした研究に取り組んでいます。研究を実施する際は、患者さんの個人情報厳重に保護します。

もし、ご自身が研究の対象者に該当する可能性があり、研究への診療情報の調査を行って欲しくないなどのご希望がございましたら、問合せ先にご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

実施部署名	古賀総合病院 外科（研究責任者：上原 拓明）
研究課題名	地方中規模私立病院におけるロボット支援下直腸癌手術導入後短期成績の検討
研究の意義・目的・方法	<意義・目的> 当院では、2024年11月より手術支援ロボット da Vinci Xi を導入しました。ロボット支援手術は、高精度な視野や機能的な操作自由度が得られ、近年急速に普及しています。一方で、当院のような地方中規模病院における導入後成績や、複数術者への安全な展開に関する報告は未だ限定的です。 そこで、当院におけるロボット支援下直腸癌手術導入後の成績や術者の育成体制について分析し、地方中規模私立病院におけるロボット支援下直腸癌手術の安全で適切な導入について検討することで、医療向上に資することを目的に本研究を実施します。 <方法> 2024年11月から2026年5月までに、当院でロボット支援下直腸癌手術を受けた方を対象とし、患者さんの基本情報（年齢、性別、身長、体重、診断名、術後合併症名など）、腫瘍占拠部位、術式、周術期短期成績、病理学的因子について、診療記録に記載された過去の情報を研究に使わせていただきます。患者さんの個人情報は取り扱いません。 個人情報を適切に保護する情報管理責任者は研究責任者です。 研究期間は、2026年11月21日までです。
個人情報の取扱い	診療記録の情報は、研究目的に必要な範囲を超えて取り扱わず、個人情報の保護に細心の注意を払い厳重に管理します。研究成果は、学会等で発表する予定です。その際も個人を識別できる情報は一切含みません。
問い合わせ先	古賀総合病院 外科 医長 上原 拓明 電話(代)0985-39-8888